

神戸大学大学院経済学研究科 第 631 回経済学会例会

開催日時：2024 年 4 月 17 日（水）12:15-13:15

報告者：岩月淳子 経済学研究科 助手

## 国際交流の現状と課題

### ～神戸大学経済学研究科 国際交流室から見たもの～

日本の高等教育機関を取り巻く環境は複雑化しています。新型コロナウイルス感染症やウクライナでの戦争をはじめとする世界情勢の急変の中で、高等教育の国際化をどのように進めていくべきかが模索されています。これまで、「スーパーグローバル大学創成支援事業」や「大学の世界展開力強化事業」をはじめとする文部科学省の様々な国際化政策のもと、国公私立大学はそれぞれ国際化を進めようと切磋琢磨してきました。本報告では、日本の高等教育の国際化の状況について概観し、神戸大学経済学研究科国際交流室の概要や取組に加えて、その現状と課題などについても説明します。そして後半では、経済学部教育プログラムの一環として実施している IFEEK の授業の事例（神戸大学と協定を締結しているアイルランドの大学との間で行った国際協働オンライン学習プログラム COIL<sup>1</sup>）を紹介します。2020 年には新型コロナウイルス感染症の拡大により、学生の往来が中断されましたが、両大学は COIL を用いたバーチャルクラスルームを設立しました。これを用いて、両大学の学生は、経済学や異文化理解に関連する学際的なトピックについてプレゼンテーションや議論を行い、同時に語学力も向上させることができました。したがって COIL は、海外渡航による国際交流が困難な状況でも、海外大学とのつながりを維持しながら、学生の国際意識を高めることができる取組であると考えられます。

---

<sup>1</sup> COIL: Collaborative Online International Learning

Established in 2006 at the State University of New York (SUNY), COIL is a virtual classroom that connects learners from different countries or cultures to work together (O' Dowd, 2018)